

消防大学校における教育訓練等に関する検討会報告書（概要）（案）

契機

- 消防吏員の大量退職・幹部昇任の収束
- 東日本大震災の発生、大地震等の切迫性
- 緊急消防援助隊の大幅増隊
- 社会構造の多様化・少子高齢化の進展 等

課題

1. 退職者減少後の幹部教育の見直し
2. 緊急消防援助隊教育の充実強化
3. 大規模イベント対策等消防業務の専門化・高度化への対応
4. 消防における女性の活躍促進
5. 災害対応力の強化のための実践的な教育訓練の充実
6. 消防団を中核とした地域防災力の強化のための教育訓練

具体的な方策

1. 幹部科の見直し

- 指揮能力を高める講座科目の増設
- 指揮シミュレーション訓練の増加
- 消防本部全体のマネジメント力の向上

2. 緊急消防援助隊教育～指揮隊長コース～の充実強化

- 全国の有識者・経験者からのノウハウ伝授
- 指揮訓練能力・調整能力の高度化
- オペレーション時に消防庁職員・指揮隊長等が相互に顔の見える関係の構築

3. 大規模イベント対策等消防業務の専門化・高度化への対応

- オリンピックをはじめ国際的な大規模イベント開催を控えた対応の強化
- ICTの更なる利活用と消防活動の高度化の促進
- 急増する外国人への対応促進
- 現任教官科(仮称)の創設

4. 消防における女性の活躍促進

- 女性専用コースの開講(H28～)
- 女性消防吏員枠の設定(ポジティブ・アクション)(H28～)
- 幹部の意識改革を進める教育の推進

5. 災害対応力の強化のための実践的な教育訓練の充実

- 複数学科による合同訓練の実施
- 消防研究センターと連携した危険物災害対応等の実火災体験型訓練の導入
- 危機管理・防災対策の中核的職員の育成
- 消防団を中核とした多様な主体による地域防災力強化のための教育訓練の充実

6. 消防大学校における教育手法の充実等

- すべての学科・コースへの段階的なe-ラーニング導入
- 学生が主体的に学び合う教育訓練
- 消防学校等との連携協力

年齢別 消防吏員数(平成16年4月1日現在)

